

平成 28 年度 危険等発生時の児童引き渡し訓練実施計画

H 28, 9, 1

笠岡市立吉田小学校

1, 目的

災害時の対応や防犯の観点から、児童を安全に下校させるために、直接保護者へ引き渡す必要が生じた場合、速やかに引き渡しができるよう事前準備、保護者への対応などができるようにする。

2, 日時 9月25日(日) 参観日 11:15~

3, 保護者への連絡(お知らせ)は参観日の案内文に添えて記述する。

また、事前に引き渡しカードも配布し、記入し提出してもらう。

4, 訓練の流れ、役割分担、留意点

時間	職員・児童の動き	保護者
11:00	<p>担任は児童に教室で、引き渡し訓練の手順を説明する。</p> <p>教頭は、保護者に引き渡し訓練の手順を説明する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「引き渡し」について、原則を伝える。</li> <li>安全な帰宅について</li> <li>緊急車両の優先について</li> <li>・本日の訓練の流れを伝える。</li> </ul>	<p>○保護者は、体育館で待つ。</p> <p>※保護者は自分の靴を袋に入れて持っておく。(袋配布)</p> <p>○教頭からの説明を聞く。</p>
11:15	<p>〈訓練開始・放送〉</p> <p>「これから、緊急時に備えて引き渡し訓練を始めます。」</p> <p>災害が起き、通学路に危険な箇所があるという連絡が入りました。児童の皆さんだけで下校できません。そこで、おうちの方に迎えに来ていただくことになりました。</p> <p>児童の皆さんはこれから言うようにしてください。</p> <p>帰る用意をして、学級で並んで移動します。靴に履き替えて運動場に出ます。集合場所は、新体育倉庫の前です。学級で出席番号順に並んでください。</p> <p>では、先生の指示に従って歩いて移動してください。</p>	
	<p>*引き渡し時に保護者が来校できない児童も外で並ぶ。</p> <p>学校待機の訓練にもなる。</p> <p>*落ち着いて歩いて移動する。(下学年優先)</p> <p>担任以外は机の用意と学年の表示をし、緊急避難カードと名簿(一緒に綴じておく)を持って児童の誘導にあたる。</p> <p>担任は靴箱まで誘導し、靴を履き替えさせ、一度整列させ、新体育倉庫前まで誘導する。校舎に向かって整列し点呼する。(すべて歩いて移動する。)</p>	

<p>11:45</p>	<p>整列が終わったら、教務の指示で<u>家庭並び</u>に隊形を変える。</p> <p>*家庭並び：兄弟と一緒に並ぶ。小さい学年の児童のところに大きい児童が集まって座る。</p> <p>担任が引き渡し対応者となる。（担任が不在の場合は、教務または教頭で対応する。）</p> <p>低学年が忙しくなることが予想されるので担任以外は手伝いをする。</p> <p>児童の引き渡しの準備ができたなら養護教諭が教頭へ連絡</p> <p>《引き渡し開始》</p> <p>担任は、原則として、保護者に直接引き渡す。</p> <p>①保護者から児童氏名を聞き、該当の引き渡しカードを確認する。</p> <p>②列から該当児童を呼び、児童に保護者を確認させる。（低学年は、担任以外が列に入り指示をする。）</p> <p>③確認できたら、引き渡しカードにチェックを入れる。</p> <p>④一覧表（引き渡しカードの一番下）にも引き渡し済みのチェックを入れる。</p> <p>※引き渡しが終わったら、一斉下校の隊形で待つように指導。</p> <p>⑤残った児童の氏名を確認し、教頭に連絡し、緊急連絡カードも渡す。残った児童には、配慮を要して、「学校で待機する」訓練と言うことを伝える。</p> <p>⑥残った児童を一斉下校の場所へ移動させる。（教務）</p> <p>⑦一斉下校をする。（トイレ・お茶を飲むなどの後）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・校長からのお話</li> <li>・さようなら</li> </ul> <p>☆実際の場合：残った児童は校舎内へ移動する。</p> <p>教頭は、カードを元に保護者への連絡や情報収集に当たる。</p> <p>《引き渡し後》</p> <p>本部（校長・教頭）は</p> <p>①児童の状況集約を行い、安否などの状況を明確にする。</p> <p>②必要に応じて、関係機関に連絡するなど措置を行う。</p>	<p>○教頭の指示で、保護者は運動場へ移動、各学年の机の前で並ぶ。（一番下の子の学年へ）</p> <p>○保護者は児童（兄弟全員）を受け取る。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・遠い地区から引き取りに行く（尾坂、関戸、関団、南、西、北、東、コーポの順）</li> </ul> <p>○保護者は児童とともに移動し、一斉下校の場所に（児童の後ろに）並んで待つ。</p> <p>○6年保護者は、修学旅行の説明会。</p> <p>その他の保護者は帰宅する。歩いてきている保護者は、児童と一緒に下校。</p> <p>○後日、保護者は意見や感想等を提出する。</p>
--------------	---	--

## 5、事前の学級指導

児童には、引き渡し訓練の目的や留意事項について、発達段階に応じて事前に指導する。

- ・災害などの危険な事態が発生した際に、安全に過ごすためにどのような行動をとるべきか、考えさせる。（待ったり、我慢したりして過ごすことも大切であること）
  - ・本当の災害の場合には、保護者の迎えが長時間を要することも考えられるため、学校で待機することもあり、また、待機することをおうちの人へも説明するように指導する。
- 自分のお迎えが遅くなっても心配しないように指導する。

※引き渡し訓練の流れ

- ①放送をよく聞く。
- ②担任の先生の指示に従って、帰りの準備・移動をする。
- ③運動場で学級ごとに並ぶ。
- ④家庭並びに並び替える。下の学年のところに兄弟が集まる。
- ⑤保護者の方を静かに待つ。
- ⑥一家庭ずつ確認をしながら、引き渡す。時間がかかると考えられる。
- ⑦保護者が迎えに来たら、移動する。
- ⑧一斉下校のように並んで、引き渡しが全部終わるまで待つ。
- ⑨引き渡しが終わったら、一斉下校。いつものように歩いて（バスで）帰る。

6. 評価

- ・PDCA で今後へ活かす。
- ・保護者から感想を書いてもらう。

7. 準備物

緊急時引き渡しカード

保護者用靴入れの袋

学年表示 机

筆記用具

ハンドマイク

緊急時引き渡しカード					
児童名		児童名			
年		年			
児童名		児童名			
年		年			
番号	引き取り者氏名	連絡先（電話・住所）		児童との関係	チェック欄
1	保	電話			
	護	携帯			
	者	住所			
2		電話			
		携帯			
		住所			
3		電話			
		携帯			
		住所			

## 引き渡しについて

### (1) 引き渡し基準

地震 ※学校を含む地域の 震度が基準	震度4以下	原則、下校させる。 (但し、交通機関に混乱が生じて保護者が帰宅困難になる場合が予測される場合、事前に保護者からの届けがある児童生徒等については、学校で待機させ、保護者の引き取りを待つ。
	震度5弱以上	保護者が引き取りに来るまで学校に待機させる。
津波	津波警報 大津波警報	解除されるまで下校させない。 保護者への引き渡しも行わない
その他 (二次災害)	河川氾濫、建物倒壊による 通学路の危険	引き渡し、下校の安全確保が困難な場合は、校長判断により、児童生徒を学校に待機させる。

### (2) 引き渡し方法

<p>○ 引き渡しの原則</p> <p>震度4以下原則下校させる。但し、事前に保護者からの届けがある児童生徒については学校で待機させ、保護者の引き取りを待つ震度5弱以上保護者が引き取りに来るまでは、児童生徒等を学校で保護しておく。</p> <p>○ 引き渡し手順</p> <ul style="list-style-type: none"><li>①引き渡し場所の決定</li><li>②引き渡しカードの準備・児童を待機場所へ(担任等)</li><li>③保護者対応<ul style="list-style-type: none"><li>・保護者誘導</li><li>・引き渡し説明</li></ul></li><li>④引き渡し<ul style="list-style-type: none"><li>・カードの照合</li><li>・引き渡し(連絡先の確認・名簿へのチェック)</li><li>・今後の連絡等</li></ul></li><li>⑤引き渡した児童生徒の集約と教育委員会への報告</li><li>⑥残った児童生徒の保護</li></ul>
---

#### <作成上の留意点>

- ・電話やメールが使用できないことも考えられるため、引き渡しのルールや連絡方法等を事前に文書等で周知・徹底をしておく必要がある。  
(例) ○電話・メールにて連絡する ○学校のホームページに掲載する ○学校の玄関や市町村役場等に避難状況を掲示して知らせる 等の方法がある
- ・児童生徒の長期間の待機を想定し、心のケア、食料の確保、宿泊等の対応も考えておく必要がある。